

2025年度
京都歯科医療技術専門学校
学校関係者評価報告書

2026年 2月
京都歯科医療技術専門学校

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的
2. 学校関係者評価の基本方針
3. 学校関係者評価委員会実施日時
4. 学校関係者評価委員会出席者
5. 自己点検・自己評価アンケート
6. 学校関係者評価方法

II. 学校関係者評価結果

1. 評価結果
 - A. 学校役員・専任教員結果
 - B. 学生アンケート結果
2. まとめ

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、京都歯科医療技術専門学校（衛生士科・技工士科）の学校関係者評価委員会での検討結果を記載したものである。

令和 8年 3月11日

学校長 長澤 成明

自己点検・自己評価 集計担当者 有井 真弓

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

自己点検・自己評価結果の客観性・透明性を高めると共に、学校関係者評価委員会の設置により継続的な連携協力体制を確保し、学校運営の更なる改善を図ることを目的とする。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・自己評価結果をもとに、専修学校における学校評価ガイドラインに基づき実施する。

3. 学校関係者評価委員会実施日時

第1回実施日：令和 7年 9月17日（水）

ところ：京都歯科医療技術専門学校 会議室456

第2回実施日：令和 8年 1月28日（水）

ところ：京都歯科医療技術専門学校 役員室2

4. 学校関係者評価委員会 出席者

◎学校関係者評価委員

	職 名	氏 名
委員長	歯科医師	長谷川 貴 彦
副委員長	歯科医師	佐々木 継 泰
委 員	歯科医師	見 田 常 幸
委 員	歯科医師	竹 村 眞 理
委 員	歯科医師	住 岡 龍 一

◎自己点検・自己評価委員

	職 名	氏 名
委員長	学 校 長	長 澤 成 明
副委員長	副学校長	請 田 研 二
委 員	副学校長	中 出 勝 久
委 員	教務部長	中 村 匡
委 員	衛生士科 学生部長	松 井 恭 子
委 員	技工士科 学生部長	秦 野 博 司
委 員	指導部 部長	村 西 実智浩
委 員	指導部 次長	有 井 真 弓

◎事務局(学校担当事務)

	職 名	氏 名
事業部	係 員	宮 本 愛 音

5. 自己点検・自己評価アンケート

本校の自己点検・自己評価を学校関係者と学生に行ったアンケートを基に検討を行った。

6. 学校関係者評価方法

アンケートの詳細は下記の通りである。

実施日：2025年1月

実施方法：学校関係者は、配票調査

学生はウェブアンケート調査（Google フォーム利用）

評価対象：学校役員及び専任教員（計16名）

設問：61問

評価対象：学生 衛生士科61回生46名・技工士科54回生7名

衛生士科62回生43名・技工士科55回生19名

衛生士科63回生55名

設問：19問

II. 学校関係者評価結果

1. 評価結果

A. 学校役員・専任教員結果

●学校運営に係る調査概要

令和7年1月、学校運営の評価を目的として、学校関係者（役員および教員）16名を対象に配票によるアンケート調査を実施した。調査方法は、対象者全員に調査票を直接配布し、自記式にて回答を得る形式をとった。評価尺度には「適切（A）」「ほぼ適切（B）」「不適切（C）」の3段階を用いた。最終的に16名全員から有効回答を得ており（回収率100%）、本調査の結果は対象集団の総意を完全に反映したものと言える（資料1）。

●学校運営に係る調査結果

1) 組織の強み：強固な土台と法令遵守

以下の項目において「A：適切」との評価が極めて高く、学校運営の基盤は非常に安定していると評価された。

- 教育理念と管理体制： 教育理念や目的の策定 (87.5%)、学籍簿の保管 (93.75%) が適切に行われている。
- 学生サポートと環境： 学生相談体制 (80%以上) や施設・設備の整備 (81.25%) は良好であり、学習環境の質が担保されている。
- コンプライアンス： 法令遵守および個人情報保護 (75%以上) への意識が高く、健全な組織運営がなされている。

2) 今後の課題：理念の具体化と教育の現代化

一方で、制度は存在するものの、実行性や具体性に欠ける実態が課題として示唆された。

- 将来ビジョンの具現化： 理念は定まっているが、具体的な「将来構想」や「特色ある教育活動」への展開 (A 評価が約 56%) に物足りなさが残る。
- 教員の資質向上とキャリア教育： 先端的な知識・技能の研修 (B 評価 56.25%) や、キャリア教育の導入 (B 評価 68.75%) が急務であり、社会の変化に応じた教育内容のアップデートが求められている。

3) 戦略的改善項目：外部連携と財務の透明性

組織の持続可能性と社会性を高めるために、以下の項目が重点改善ポイントとして挙げられる。

- 社会・地域貢献の強化： 地域連携や社会的視野を広げる教育活動 (A 評価 25%) は、本調査で最も評価が低く、外部資源の活用や地域社会への還元が大きな検討課題である。
- 財務基盤の安定と情報共有： 中長期的な財務基盤の安定性に対し過半数 (56.25%) が「B」と回答しており、将来的な不安を払拭するための情報公開と健全化計画の共有が必要である。
- 自己評価のサイクル化： 自己評価の実施体制は整っているが、その結果を「具体的な改善」に繋げるプロセス (B 評価 56.25%) に課題があり、PDCAサイクルの実効性を高める必要がある。

B. 学生アンケート結果

●学生による教育活動・学修環境による満足度調査概要

令和7年1月、本校に在籍する学生を対象として、教育活動および学修環境に関する満足度調査を実施した。本調査は、学生の視点から現状の課題を把握し、教育の質を継続的に改善することを目的としている。

調査手法には、利便性と匿名性を考慮し、Google フォームを用いたオンラインアンケート形式を採用した。評価尺度については、各設問に対し「適切 (A)」「ほぼ適切 (B)」「不適切 (C)」の3段階による自己評価を求めた。

調査対象者170名のうち、136名から回答を得た（回収率80%）。学生の約8割から回答が得られたことは、統計的にも一定の信頼性を有する有効なデータであると言える（資料2）。

●学生アンケートに係る調査結果

1) 理念の浸透と初年次の高い満足度

- 教育理念の体現： 全学年を通じて「教育理念・目的」は高く評価されており、学校の方針が学生に深く浸透している。特に技工士科1年生（全員肯定的）や衛生士科3年生（A評価88.5%）の結果は、本校の教育の根幹に対する強い信頼を示している。
- 初年次の高評価： 各学科の1年生は、成績評価基準や指導体制、学生支援に対して概ね高い満足度を示しており、導入教育が適切に機能していることが伺える。

2) 学年進行に伴う評価の厳格化と課題

- 教育内容への要求： 学年が上がるにつれて「教育活動」への評価が厳しくなる傾向がある。特に衛生士科3年生では、教育内容と臨床現場のニーズとの乖離を懸念する声があり、A評価が約3割まで低下している。
- 専門性の向上と環境への視点： 施設・設備等のハード面は概ね高評価だが、実習が高度化する2年生以降では、設備のメンテナンスや更なる充実を求める声（B評価の増加）が目立つ。

3) 学生支援体制の再検討

- 進路・精神面でのサポート： 2年生以降で「就職支援」へのA評価が減少し、3年生では「カウンセリング」において「不適切 (C)」の回答も見られた。最高学年における進路不安や精神的ストレスに対し、より個別具体的かつ深刻度に応じた支援体制の構築が急務である。

4) 社会貢献・視野の拡大に関する認識の差

- 学年・学科による乖離： 技工士科 2 年生が広い視野の重要性を認識し肯定的である一方、衛生士科の上級生では「専門外の授業」に対する評価が厳しくなっている。専門教育と社会貢献活動の関連性をより明確に提示し、学習の動機付けを行う必要がある。

2. まとめ

本校は法令遵守や施設環境、基礎的な教育体制において高い信頼を得ている。今後は、確立された理念を「地域連携」や「キャリア教育」といった具体的な形へと落とし込み、中長期的な視点を持って組織の透明性を高めていくことが、次なる発展への鍵となる。

学生からは、全体として、入学初期の満足度は非常に高いものの、卒業を控えた上級生が抱く「現場とのギャップ」や「進路への不安」をいかに解消するかが今後の最重要課題である。特に衛生士科 3 年生における評価の低下は、カリキュラムの現代化と学生相談機能の強化を求める重要なサインと捉えるべきである。

学校関係者アンケート

資料 1

一般社団法人 京都府歯科医師会会立 京都歯科医療技術専門学校			
令和6年度自己点検・自己評価			
本校の学校運営に役立てるため、自己点検・自己評価にご協力をお願いします。			
下記の項目に対し、評価基準に合わせて該当する数字に○を記入して下さい。			
【評価基準】 適切：A ほぼ適切：B 不適切：C			
役員6名・専任教員10名			回答数
1. 教育理念・目的・育成人材像			A B C
1	目的・育成人材像は定められているか	14	1 1
2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	12	3 1
3	理念・目的・育成人材像等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか	9	6 1
4	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	9	6 1
2. 学校運営			回答数
			A B C
5	理念・目的に沿った運営方針を定めているか	8	8 0
6	運営方針に沿った事業計画を定めているか	10	6 0
7	設置法人は学校運営のための組織を整備し、組織運営を適切に行っているか	9	6 1
8	人事に関する制度を整備しているか	7	7 1
9	給与制度を整備しているか	10	6 0
10	学籍簿は、学籍の記録、履修状況が正確に記載され、保管が適切にされているか	15	1 0
3. 教育活動			回答数
			A B C
11	教育理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	11	5 1
12	学年毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	9	6 1
13	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	10	6 0
14	各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	10	6 0
15	各職業領域からの優れた講師の確保などマネジメントが行われているか	8	7 1
16	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準を明確にしているか	12	3 1
17	目標とする資格・免許は、教育課程上で明確に位置づけているか	13	3 0
18	資格取得の指導体制はあるか	14	2 0
19	資格・要件を備えた教員を確保しているか	10	5 1
20	教員の資質向上への取り組みを行っているか	8	7 1
21	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる教育を確保しているか	8	8 0
22	教員の先端的な知識・技能等を修得するための研修や資質向上のための取組みが行われているか	7	9 0
4. 教育成果			回答数
			A B C
23	府内就職率を高めるように努めているか	9	6 1
24	就職等進路に関する支援体制を整備しているか	10	6 0
25	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか	9	5 2
26	具体的な就職指導に関するセミナー・講座等を開講しているか	7	7 2
27	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか	10	6 0
28	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか	7	8 1
29	学生相談に関する体制を整備しているか	13	2 1
30	生活面・学習面等での相談体制を整備しているか	10	6 0
31	保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか	11	5 0

		役員6名・専任教員10名		回答数		
5. 学生支援		A	B	C		
32	進路・就職に関する情報提供等の支援体制はあるか	13	3	0		
33	学生が相談できるカウンセリングは整備されているか	14	2	0		
34	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	10	6	0		
35	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	9	7	0		
36	保護者と適切に連携しているか	8	8	0		
37	卒業生の支援体制はあるか	8	8	0		
38	キャリア教育を教育活動に導入しているか	5	11	0		
		回答数				
6. 教育環境		A	B	C		
39	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	13	3	0		
40	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	12	4	0		
41	学外授業の実施体制を整備しているか	12	4	0		
42	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	10	6	0		
43	施設・設備の整備、メンテナンスは適切に行われているか	12	4	0		
		回答数				
7. 学生の募集と受入		A	B	C		
44	学生募集を適切かつ効果的に行っているか	12	4	0		
45	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	11	5	0		
46	学生募集のための、ホームページの工夫はされているか	10	5	1		
47	広報活動経費が適正に算定されているか	11	4	1		
48	入学辞退者に対し、授業料等について、適切な取り扱いを行っているか	12	4	0		
		回答数				
8. 財務		A	B	C		
49	学校の財務状況を把握しているか	9	5	2		
50	学校および法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	7	9	0		
51	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	9	7	0		
52	財務について会計監査が適正に行われているか	11	5	0		
53	財務情報公開の体制整備はできているか	10	6	0		
		回答数				
9. 法令遵守		A	B	C		
54	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	13	3	0		
55	個人情報保護に関する対策を実施しているか	12	4	0		
56	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	10	6	0		
57	自己評価の問題点の改善に努めているか	7	9	0		
58	自己評価結果を公開しているか	6	10	0		
		回答数				
10. 社会貢献		A	B	C		
59	重要な社会問題について、学生・教職員への啓発を行っているか	9	6	1		
60	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	11	1		
61	社会的視野を広げるための授業科目を設定しているか	4	12	0		
自由記載：課題や意見等、あれば自由にご記入ください						

学生アンケート

資料 2

【評価基準】 適切：A ほぼ適切：B 不適切：C		理工士科						衛生士科						両科							
		55 回生		54 回生		63 回生		62 回生		61 回生											
		1年		2年		1年		2年		3年		合計									
		対象人数		19 人		7 人		55 人		43 人		46 人		170 人							
1. 教育理念・目的・育人人材像		評価基準		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C			
1	理念・目的・育人人材等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか	回答人数		13	6	0	5	2	0	35	16	0	23	10	0	23	3	0	99	37	0
		1年		2年		1年		2年		3年		合計									
2. 教育活動		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C		
2	学年毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	11	8	0	6	1	0	35	16	0	20	14	0	7	3	0	79	42	0		
3	各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	13	6	0	4	3	0	34	17	0	20	13	0	7	3	0	78	42	0		
4	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準を明確にしているか	16	3	0	5	2	0	36	15	0	22	11	0	9	1	0	88	32	0		
5	資格取得の指導体制はあるか	15	3	1	5	2	0	36	15	0	21	13	0	8	2	0	85	35	1		
		1年		2年		1年		2年		3年		合計									
3. 教育成果		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C		
6	府内就職率を高めるように努めているか	11	7	1	4	3	0	35	15	0	16	18	0	7	2	1	73	45	2		
7	就職等進路に関する支援体制を整備しているか	11	6	2	5	2	0	35	16	0	13	21	0	6	4	0	70	49	2		
8	生活面・学習面等での相談体制を整備しているか	11	7	1	5	2	0	34	17	0	16	17	0	5	5	0	71	48	1		
9	保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか	11	6	2	4	3	0	34	16	1	16	18	0	4	6	0	69	49	3		
		1年		2年		1年		2年		3年		合計									
4. 学生支援		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C		
10	進路・就職に関する情報提供等の支援体制はあるか	11	6	2	5	2	0	34	17	0	16	20	0	6	4	0	72	49	2		
11	学生が相談できるカウンセリングは整備されているか	10	8	1	5	2	0	34	17	0	14	18	0	5	4	1	68	49	2		
12	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	12	6	1	6	1	0	34	17	0	14	18	0	5	5	0	71	47	1		
13	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	12	6	1	4	3	0	35	16	0	16	18	0	5	5	0	72	48	1		
		1年		2年		1年		2年		3年		合計									
5. 教育環境		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C		
14	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	10	7	2	5	2	0	35	16	0	21	13	0	6	4	0	77	42	2		
15	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	12	6	1	6	1	0	34	16	0	20	14	0	6	4	0	78	41	1		
16	学外授業の実施体制を整備しているか	13	5	1	6	1	0	35	15	0	21	12	0	6	4	0	81	37	1		
17	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	13	5	1	6	1	0	35	13	0	21	13	0	7	3	0	82	35	1		
18	施設・設備の整備、メンテナンスは適切に行われているか	12	6	1	4	3	0	34	14	0	21	12	0	6	4	0	77	39	1		
		1年		2年		1年		2年		3年		合計									
6. 社会貢献		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C		
19	社会的視野を広げるための授業科目を設定しているか	0	0	0	5	2	0	34	14	0	20	14	0	7	3	0	66	33	0		